

初めてのふたり暮らしは、  
出会った土地で。一緒に巡る  
「秋田探し」が今の楽しみ。



伊東 拓海さん  
茂原 瑠美さん

Profile

(拓海さん)

■東京都から移住 ■東京都出身  
■25歳 ■会社員

(瑠美さん)

■茨城県から移住 ■茨城県出身  
■25歳 ■会社員

秋田市暮らしの、  
はじめかた。

※瑠美さんの場合

STEP  
1

まずはプロに相談。助成金やサポートの  
詳細を伺いました。

秋田市の移住支援の窓口にはまず連絡しました。  
メールを登録すると、移住関連のいろんな情報を  
受け取れるように。

STEP  
2

関東圏で開催される移住者イベントに参  
加しました。

連絡を受けて、移住者の話が聞けたり秋田の企業が  
集まるイベントに参加しました。自分でもインター  
ネットを活用して情報を積極的に集めました。

## 大学時代を過ごした大好きな秋田で、一緒に暮らす夢を叶えた。

瑠美さんは茨城県出身、拓海さんは東京都出身。二人は秋田県立大学の同期で、卒業後約2年の遠距離恋愛を経て、秋田での同棲生活を始めました。

(拓海さん) 「私たちは大学4年の時に交際を始めました。卒業後、私は大学院に残って彼女は地元の茨城に就職。2年半ほど遠距離恋愛を続けていたのですが、そろそろ一緒に暮らしたいね、という自然な流れの中で、私の仕事の関係もあり『秋田に来ない?』と誘ったんです。」

(瑠美さん) 彼と一緒に暮らせることも、大好きな秋田でまた暮らせるのも嬉しかったですね。移住することを決めてからは、まず秋田市の移住支援の窓口で連絡を取りました。最初は助成金の手続きについて知りたくて行ったのですが、メール登録をすると移住支援のいろんな情報を受け取れるように。ある時移住イベントの案内が届き、行ってみたんです。イベントには秋田の企業がたくさん来ていて、直接お話を聞くことができるブースが充実していました。遠方においてもインターネットで求人は見れますが、企業の雰囲気を知るのには難しく…対面で説明していただけるのがありがたかったですね。移住するとなると、まず仕事を見つけるのが大変だと思うので、とても良い機会でした。」



## 知らなかった秋田を二人で一緒に発見していくのが、今は楽しい。

(拓海さん) 「秋田の好きなところは、自然が豊かだけど害虫が少ないところ(笑)。本当に暮らしやすいです。あとは、ラーメンが美味しい(笑)! 週末は瑠美と一緒にラーメン店を巡るのが楽しみになっています」。

(瑠美さん) 「私は秋田に来て、人のあたたかさを実感しています。例えば、朝ゴミ捨てをする時や道ですれ違う時、『おはようございます』って気さくに挨拶してくれるのが嬉しいですね。私の地元ではあまりない光景なので最初はびっくりしましたが、でもその一言であたたかい土地だなんて、自然と感じられるんです」。

(拓海さん) 「秋田市暮らしで大変なことは、やはり雪ですね。私の職場では雪が積もると社員総出で早朝から雪かきをすることもあって、ちょっと疲れたりはします(笑)」

(瑠美さん) 「大学時代は車を持っていなかったのですが、今の不安は雪道の運転ですね。車線が見えなくなったりスリップするのが怖いです。でも、車でいろんなところに行けるのはすごく楽しくて。学生の頃は行動範囲が大学周辺に限られていたので、秋田のことまだ全然知らないんです。これからは、彼と一緒に新しい秋田をどんどん発見していきます!」

### 秋田市暮らし、本音のところ。

よかったところ

豊富な自然とグルメ、  
人のあたたかさ!

(拓海) 自然が豊富で落ち着くし、食べものが美味しい!

(瑠美) 知らない人も優しく接してくれるので、居心地が良いですね。

苦労したところ

勤務前の雪かきは、  
少し大変。

(拓海) 雪が積もるとみんなで会社の雪かきをするんですが、ちょっと大変。体力勝負ですね(笑)

(瑠美) 雪道運転が不安です…。